

**平成27年度（通期）
指定管理施設管理運営状況報告書**

施設担当課： 都市活力 部 都市企画 室 文化振興 課

1. 基本情報

1006

施設名	伊丹市立演劇ホール（アイホール）		
施設の設置目的	市民の自由な創造活動を促進し、文化の発展に資する。		
伊丹市総合計画（第5次）における関連施策	政策目標： にぎわいと活力にあふれるまち 施策目標： 個性とにぎわいあるまちづくり 主要施策： 芸術文化のまちづくり		
指定管理者の名称	公益財団法人 伊丹市文化振興財団 (団体の住所又は所在地) 伊丹市宮ノ前1丁目1番3号伊丹市立文化会館（いたみホール）内		
選定方法（公募・非公募）及び指定期間	非公募	平成 26 年 4 月 1 日 ～ 平成 31 年 3 月 31 日	
管理運営上の目標 (管理運営を行う上での指定管理者の具体的目標)	指標名	来館者数	(単位： 人)
	指標の意味	年間の施設来館者数	
	今年度の目標値	45,000	通期の実績値 45,689

2. 利用状況

利用状況等の推移		H17※	H23	H24	H25	H26	H27 (上期)	H27 (通期)
	来館者数(人)		34,461	44,611	47,712	45,276	44,676	23,460
貸し室稼働率(%)		56	56	63	65	59	58	58
延べ事業開催回数(回)		35	48	45	47	53	27	49
延べ事業参加者数(人)		7,472	22,466	21,733	17,799	17,507	4,962	17,357

※H17年度は、指定管理者制度未導入。

3. 管理経費等

平成27年度 指定管理者の 収支状況 <単位:千円>	計画（通期）		実績（通期）	
	<収入の部>		<収入の部>	
	指定管理委託料	92,606	指定管理委託料	94,067
	事業収入（公演収入等）	7,231	事業収入（公演収入等）	8,561
	利用料金	8,562	利用料金	10,276
	助成金	20,497	助成金	16,692
	合計	128,896	合計	129,596
	<支出の部>		<支出の部>	
	人件費	42,223	人件費	43,536
	維持管理経費	46,229	維持管理経費	47,621
事業等経費	40,444	事業等経費	32,975	
合計	128,896	合計	124,132	
<収支差>		<収支差>		
収入合計－支出合計	0	収入合計－支出合計	5,464	

施設の管理運営に係る実質経費 (市の負担) ※ <単位:千円>		H23	H24	H25	H26	H27	H28
	市の収入	4,661	1,861	3,461	1,861	1,980	-
	(内、使用料収入)	0	0	0	0	0	-
	市の支出	86,604	98,291	125,389	117,004	111,593	-
	(内、指定管理委託料)	82,972	89,545	89,464	89,389	94,067	-
実質経費（歳出－歳入）	81,943	96,430	121,928	115,143	109,613	-	

※施設建設等に係る市債償還などの経費は、支出に含んでいません。

4. 業務評価

評価項目	(具体的内容)	評価結果				
		指定管理者自己評価		施設担当課評価		
		評価	特記事項	評価	担当課所見	
管理体制等に関する事項	維持管理業務の実施状況	館内の清掃を定期的実施し、常に清潔に保たれているか。	A	環境に配慮した空調設備運転を行った結果、大幅に光熱水料費の削減ができた。利用者から要望が高かったカルチャールームAの壁面修繕を施工したほか、備品の見直しを行い、付属設備使用料の整理を行った。	A	仕様書に基づき、適性に業務が実施されている。また備品管理は適切に管理されている。節電等も積極的に取り組まれ効果が上がっている。
		保守点検等は、協定書・仕様書に基づき適切に実施しているか。	B			
		備品等は、台帳を整備し適切に管理しているか。	A			
		修繕業務は、市と適宜協議しながら適切に実施しているか。	A			
		環境に配慮した施設運営に取り組んでいるか。	B			
	職員配置などの実施体制	館長等、必要な職員の配置をおこなっているか。	B	全国10施設を巡演する企画に参加し、他地域の制作ノウハウの吸収に努めた。個人情報やマイナンバー取扱についての研修を実施した。	B	外部の情報を積極的に収集し、運営に直結する技術研修を行い能力向上に努めている。
		職員研修は、計画どおり実施しているか。	B			
		防火管理者等、管理にあたって必要な資格を持った職員を適正に配置しているか。	B			
	防犯・防災対策への取組状況	緊急時の連絡体制は整っているか。	B	アリオ管理組合の合同避難訓練に参加するなど、連絡・協力体制を築いている。	B	周辺施設と連携をし、適切に取り組まれている。
		避難訓練を実施しているか。	B			
運営等に関する項目	サービス向上への取組状況等	サービス向上や利用者増へ向けた取り組みを行っているか。	A	要望の多かったイベントホールの大黒幕や平たい更新を実施するなど、利用者の意見を反映した運営を行った。	A	地域と密接な関係を築き、交流に努めているほか、利用者への助言を行う等、サービスの向上に努めている。
		利用者の意見を施設運営に反映する仕組みを確立しているか。	A			
		苦情・トラブルに対し、適切・迅速に対応しているか。	B			
		特定利用者を優遇したり、理由もなく利用を制限している事例はないか。	B			
	事業等の実施状況	指定管理者として実施すべき事業は、計画どおり実施しているか。	B	子どもから三世代が共に楽しめる演劇作品を創作するなど、積極的な事業展開を行った。	B	アトリチ事業など幅広い世代対象の講座等を実施するなど計画以上の事業が行われている。
		施設の設置目的を達成するための効果的な事業展開がなされているか。	A			
	個人情報保護・情報公開への取り組み	各種申請書類等は、適切に保管しているか。	B	WEBサイトを刷新し、公演ごとにインタビューページを作成するなど、積極的な広報ツールとして活用した。	B	情報発信の手段としてSNS等の新しい媒体を使用することに積極的に取り組んでいる。
		利用者情報などの電子データの取扱は、適切に行っているか。	B			
		ホームページの作成や広報紙等を活用した情報提供を積極的に行っているか。	A			
	収支の状況	収支計画に基づき、適正に運営しているか。	A	各種補助金・助成金による収入の確保と共に経費削減に努め、効率的な運営を行った。	A	助成金獲得による次世代育成を目的とした普及啓発事業を展開している。収支計画に基づ
経理処理は、適切に行っているか。		B				

「評価」欄の記号の意味

「A」＝協定書・仕様書等の水準を上回っている。

「B」＝協定書・仕様書等の水準を満たしている。

「C」＝協定書・仕様書等の水準を満たしておらず改善を要する。

「-」＝当該項目での評価対象外。

施設所管課総評	情報発信の手段としてSNS等の情報発信手段を利用する等、より広がった宣伝展開を行っているほか、事業運営についても、作品の上演だけでなく積極的に市内小・中・高校生へのアウトリーチ事業やワークショップ事業を行う等、助成金獲得による次世代育成を目的とした普及啓発事業を展開している。
総合評価	B

「総合評価」欄の記号の意味

「AA」＝管理運営が非常に優れていると認められる。

「A」＝管理運営が優れていると認められる。

「B」＝管理運営が適正であると認められる。

「C」＝管理運営が改善を要する水準である。

☆利用者満足度調査(アンケート)結果と対応【実施期間】平成27年4月1日 ~ 平成28年3月31日

実施の有無	主な回答	主な対応
有り	①客席でしゃべる人が多い。身内を呼ぶ時は必ずその辺りを注意して呼んでください。	①発表公演において、受講生の親族(低年齢のお子様)が観劇した為、観劇ファンに不快な思いをさせてしまった。次回より、受講生に対して低年齢の方の来場を制限するなど周知徹底を図っていきたい。 ②学生の団体鑑賞があった為、観劇を楽しみにされていた方に不快な思いをさせてしまった。今後、学生の団体鑑賞がある場合は、貸切公演とするなど、劇団と協議しつつ、鑑賞者への配慮を行っていきたい。
回答者数	②後ろの席の学生さんが落ち着きなく私語が続き、1時間半ほどは我慢しましたが、集中力をそぐこと著しく席を変えました。十分にたのしめなかったのが残念です。	
1,432		

5. 改善指摘事項等

市からの指摘事項	指摘事項に対してとられた措置
特になし	